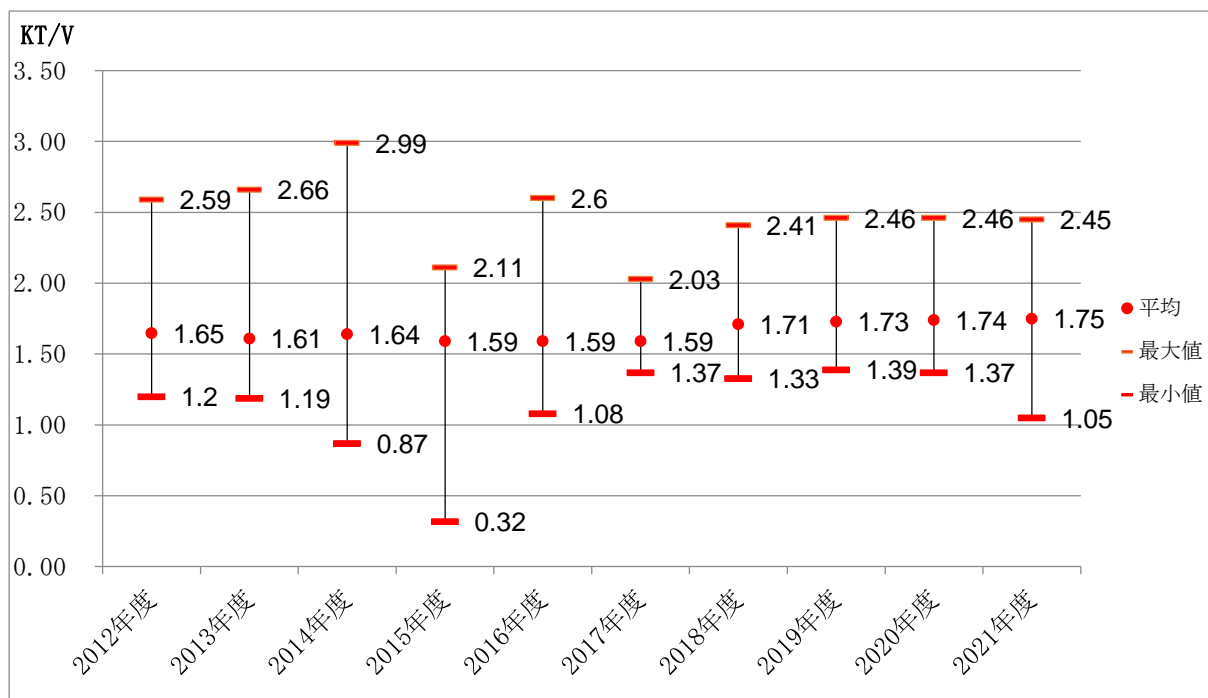


4 1. 維持透析患者の透析効率



日本透析医学会のガイドラインでは、最低限の尿素透析量として $Kt/V1.2$ が推奨され、目標とすべき尿素透析量としては $Kt/V1.4$ 以上が望ましいとされている。十分に高い Kt/V を維持することで、患者の生命予後のみならず、合併症予後も改善することが期待される。2021年度の当院の維持透析患者の Kt/V 平均値は1.75であり、高い透析効率を維持している。当院では毎月 Kt/V を算出し1.4未満であった場合は、多職種によるカンファランスにて血液流量、血液浄化器、透析時間等の透析条件を見直し、透析効率の向上に努めている。

今後、透析効率に関係するバスキュラーアクセスにおいて、超音波診断装置を導入し、シャントの血管抵抗指数 (RI) や血液流量 (FV)、形態学的計測等を定期的に評価することで、よりよい透析治療が継続できるようにと考えている。

データ提供 血液浄化センター